

マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	3年又は4年後期	単 元	実 習	教科名	二輪実習
科 目	—	教科書等 持参品	学生手持ち工具		発行日
総時限	84		定期点検の手引き		2026年3月27日
総時間	134.4		日産整備士 3 級テキスト		教科 担当
					松本 良和

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士として、自動車の整備に関する実務経験を積む

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- 整備工場で実施する作業を習得する
- 基本作業の中で部品良否判定のポイントを理解・習得する
- 分解整備に関する基礎作業を理解する

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- 安全を最優先して作業ができる
- 各作業を行う際、部品の良否判定を考慮しながら作業を進められる
- 適切な工具の選択ができる
- 整備を行うために必要な、考え方を学ぶ

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

- ・日産整備士 3 級テキストのエンジン制御についての復習を実施

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

マスターメカニック科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年又は4年後期	単 元	実 習	教科名	二輪実習	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	二輪整備概要説明				実習車両	3
2	エンジン脱着 （5 0 c c）				カーリフト	2
3	↓				ガレージジャッキ	2
4					リジットラック	8
5					インパクトレンチ	3
6					エアゲージ	1
7					トルクレンチ	5
8	エンジン分解・組立				学生手持ち工具	学生分
9	↓				定期点検の手引き	学生分
10					法令教材	学生分
11					日産整備士 3 級テキスト	学生分
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20					↓	
21	サスペンション脱着・組立					
22	↓					
23						
24						
25						
26						
27						
28	キャブレター脱着・分解・組立					
29	↓					
30						
31						
32						
33						
34						
35	各部・調整作業					
36	↓					
37						
38						
39	エンジン脱着 （4 0 0 c c）					

40			
41			
42	↓		
43	エンジン分解組立		
44			
45			
46	サスペンション分解・組立		
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60	↓		
61	キャブレター脱着・分解・組立		
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71	↓		
72	各部調整作業		
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84	↓		